

令和6年度中国・南昌市への青少年訪問団派遣事業 事後報告書

◆名前：木村 栞

江西省及び南昌市に滞在中の様子や本事業で得たこと、感想等をご記入ください。
(1,000字程度)

今回、私は香川県高松市の青年訪問団の代表として高松市と姉妹都市協定を締結している中国江西省南昌市を訪れました。私は中学生の頃から中国を訪れてみたいと考えていました。今回、青年訪問団として訪問することができ、中国の文化、食べ物、グローバル化を五感で感じることができ、価値観の幅が広がりました。

私が本事業で感じたことは2つあります。1つ目は国際友好都市青年エリート対話です。様々な国の人や留学生が集まり、自国や中国の魅力を発表していたり、世界をよりよくするためのテーマで発表していたり、皆が自国の魅力を発信しようと努力したり、世界をよりよくしようと考えていることが分かりました。留学生の話はとても魅力的に感じたので実際に東南アジアやオーストラリアへ留学してみたいと強く思いました。発表は中国語や発表者の母国語や翻訳された英語が主であり意味を完全に理解することはできませんでした。そこで私たちの英語力は、向上し続ける必要があるという事実を認識しました。皆が、自国を誇りに思っているなど感じるなど、情熱的な発表にあふれていて胸打たれることもありました。中でも日本人の方の発表は印象的でした。同い年くらいの少年がスラスラと英語で発表をしていて、驚きと共に私もあの場所に立ってみたいという憧れの気持ちになりました。彼は、日本では仲間外れがあるが、彼が留学したオーストラリアではフレンドリーに受け入れてくれた。そして私たちは他国の文化や伝統を尊重することで仲良くなれる。と話していました。私も本事業でそのことを強く感じました。異文化を受け入れることは簡単なことではありません。しかし、食べ物も文化も違うからこそ、今回知ることができた、新たな味、日本とは異なった陶器、中国の方との交流を楽しめたのかなと感じました。感じることができたからこそ、私はこれからの人生で今まで以上に異文化を尊重し、積極的に分かろうとしようと思いました。

2つ目は派遣全体を通しての団体行動です。2日目に行われた中日青年友好交流大会では高松市代表として皆でジャパニーズブームダンスを成功させることができました。私は前列で踊る役を担い、とても緊張しましたが会場での手拍子によって最後まで無事踊りきることができました。皆で1つのことをやり遂げた達成感はとても素晴らしいものでした。観光地での自由行動や班行動では、皆で仲良く、楽しむことと同時に常識のある行動をとることができました。今回、初めて中国へ行って見て、私の中国への印象はいい方向へと大きく変わりました。憶測で作りに上げた海外の印象は、自分自身で見ないと分からないものだなと思いました。中国で目にしたこと、感じたことをこれからの人生の糧にしていけたらと思います。そして、またいつか海外へ行って自分の目で見て、新しい発見や経験を増やしていこうと思います。謝謝！！

